

学校長様

児童支援専任・生徒指導専任様

特別支援教育コーディネーター様

養護教諭様

令和5年9月7日 第2号

横浜市立浦舟特別支援学校

# 連携支援だより



学校に子どもの声が戻ってきました。浦舟特別支援学校でも、病院によっては以前のように病棟行事が行えるようになり、子どもたちの表情もより明るく見えます。

7月26日、特別支援教育総合センターと共催の研修会を行い、先生方と共に学ぶことができました。研修の内容をご紹介します。



## 第1回 「学校と医療の連携」

～愛着形成に問題がある子どもたち～

社会福祉法人青い鳥 横浜市東部地域療育センター

所長 高橋 雄一氏



### 横浜市地域療育センター・児童精神科医療機関の紹介

- ・療育センターの新規申し込みは増加傾向にある。
- ・幼児人口の1割が利用していて、診療の対応に半年待ちのこともある。

### 愛着（アタッチメント）

- ・愛着とは、乳幼児と養育者との間に築かれる基本的な信頼感のこと。子どもの成長においてパーソナリティや社会へのかかわりの基礎となる。
- ・愛着に問題があっても、必ずしも愛着障害というわけではない。
- ・愛着には、A回避型（親との分離に無抵抗）、B安定型（養育者との分離に抵抗し、再会を喜ぶ）、Cアンビバレント・抵抗型（両価的な感情・行動）、D無秩序・無方向型（接近と回避を同時に示し、葛藤から不適応に陥りやすい。被虐児に多い）のタイプがある。
- ・DSMによる愛着障害には、反応性愛着障害と脱抑制型対人交流障害があるが、ASD・ADHD等の発達障害と行動が似ている面が多く、鑑別が難しい。

### ボンディング障害

- ・特定の養育者は存在するが、親が子どもに抱く情緒的絆の欠如した状態のこと。医学的診断ではないが、養育者と子どもとの関係性を考える上で有用な概念。
- ・ボンディング障害の要因には、環境による要因・母親側の要因・子ども側の要因などがある。

## トラウマと逆境

- ・トラウマ（心的外傷体験）とは、実際にまたは危うく死ぬ、重傷を負う、性的暴力を受けるという出来事を、直接体験する、見る、聞く、（仕事上）くり返しまたは極端に暴露される（触れる）こと。
- ・英国の調査によると、虐待や暴力被害、家族の機能不全、ネグレクトなど逆境的小児期体験が4つ以上ある場合、うつ病や自殺企図、アルコールや薬物への依存、病気やケガが多くなる。早世など健康や寿命に影響を及ぼす。
- ・子どもが示す情緒・行動上の問題は氷山の一角で、水面下の発達特性、環境の影響、トラウマなど背景への対応が必要。

## 愛着形成に問題がある人への対応・支援

- ・「養育者＝安全基地」となる関係再構築のための環境調整など。

愛着に関する基本的な知識から、そのタイプや対応についてまで、ていねいにお話しいただきました。質疑応答では、今関わっている子どもについての理解、支援についての質問があり、個別のケースながらも「こういう場合は、こう考える」というヒントをその場の参加者が共有することができました。暑い中、多くの先生方のご参加、ありがとうございました。



### 第2回「学校と医療の連携」

～病弱教育から見える教育が子どもにできること～

日時：令和5年10月25日（水）15:30～16:45

方法：オンライン開催

講師：昭和大学大学院保健医療学研究科 准教授 副島賢和（そえじままさかず）氏

## 第2回研修会のお知らせ

特別支援教育総合センターとの共催で行っている病弱部門研修です。

\*研修管理システム Leaf からお申し込みください。

研修コード 23tk24



## 教育相談について

病気が理由で、市内の病院に入院しているお子さん、登校ができていても病気に対する配慮が必要なお子さんについて、教育相談を受け付けています。

学校だけでなく、保護者からの相談も受け付けておりますので、ぜひご紹介ください。

担当：浦舟特別支援学校 特別支援教育コーディネーター 鈴木 TEL 243-2624

**\*お手数ですが、貴校全職員への回覧をお願いいたします。**